

# 麦の穂

## 「さらなるリハビリテーションの充実に向けて」

### ～「一般・亜急性期病棟365日リハ体制」と「回復期リハ病棟での療法士早出・遅出体制」～



脳卒中は脳梗塞や脳出血により脳がダメージを受け、その後の日常生活に多大な影響をもたらす病気として今や知れ渡っています。治療の過程で安静が必要な場合がありますが、寝たきりの時間が長くなると心と身体の活動性が低くなり、残っている機能や能力までも低下してしまって「廃用症候群」と言われる状態に陥ってしまいます。

1日中ベッドへ横になり安静にしていると、体力を回復させると1週間以上かかると言われており、発症早期から身体を動かし、ベッドから起きることがその後の生活を取り戻す第一歩となります。必要な時間

回復期リハビリテーション病棟では、平成21年7月より、365日体制でリハビリテーションを提供し、患者様の身体機能や活動能力の向上を目指して携わって参りました。そしてこの度、平成23年7月から一般病棟・亜急性期病棟においても、日曜日・祝日関係なくリハビリを提供する365日リハビリテーションの提供体制を整備しました。これにより、当院の有する110床全てのベッドにおいて、365日のリハビリテーション提供が可能となりました。

当院は、脳卒中発症後、急性期からリハビリテーションを開始している一般病棟（58床）、状態が安定し積極的にリハビリテーションを実施する亜急性期病棟（10床）、回復期リハビリテーション病棟（42床）、と異なる機能を持つた病棟を擁しています。

また、回復期リハビリテーション病棟では、「病棟での生活全てが在宅復帰、社会復帰のための準備」という考えの下、誰もが起床後行う活動、例えば更衣や歯磨き・トイレなど朝の支度から、夜は夕食・食後の歯磨き・着替えをして寝る準備までの活動を練習し、自立した生活を目指して関わっています。この時間は「日常生活のゴールデンタイム」と言われ、このゴールデンタイムを充分に活かす為、当院では理学療法士・作業療法士の早出勤務（平成22年7月～）・遅出勤務（平成22年9月～）体制を開始し、患者様の生活に基づいたリハビリテーションを提供しています。「全国回復期リハ病棟連絡協議会」が提唱している回復期リハ病棟のケア（10項目宣言）でも「①食事は食堂やデイルームで行い、経口摂取への取り組みを推進しよう、②洗面は洗面所で朝夕、口腔ケアは毎食後実施しよう、③排泄はトイレへ誘導し、オムツは極力使用しないようにしよう、④日中は普段着で過ごし、更衣は朝夕実施しよう」が掲げられ、全国でも同様の取り組みが行われ始めています。

365日リハビリテーションと早出・遅出の取り組みはまだ開始したばかりで、まだまだ課題はありますが、病院を挙げて患者様の早期回復に取り組んでいます。患者本人やそれを取り巻くご家族は入院後不安に思われることが多々あるでしょう。その不安を少しでも和らげることができるように、これからもリハビリテーションの充実を図りながら手助けできればと思います。

リハビリテーション部 作業療法士 山木雅博



# 折口内科医院

院長 高橋 浩一

住 所：広島市中区吉島東1丁目4-16

診療科目：内科、呼吸器内科、緩和ケア内科

病 床：なし

(たかはし こういち)



中区吉島で在宅緩和（かんわ）ケアを中心に内科全般の診療をおこなっています。緩和ケアというのは、癌の患者様の痛みや苦しみを軽減し、最期まで自分らしい人生をおくっていただこう、というものです。往診・訪問診療もおこなっており、御希望があれば在宅看取りにも対応しております。もちろん、癌だけではなく認知症などの在宅診療にも対応しています。

## 開放病床登録医の ご紹介

高橋先生より  
いただきました！



荒木脳神経外科病院の方々には、いつも大変お世話になっております。脳血管疾患が疑われる時には、二つ返事でお引き受けいただき、大変助かっています。特に脳血栓では発病後3時間以内に治療開始すべき時代となっていますので、往診先からでもすぐに電話でお願いをしております。

私は特別養護老人ホームの嘱託医（非常勤）もしていますが、老人ホームには脳卒中後遺症で入所されている方も多くあります。高齢者は2回目、3回目の脳卒中をおこすこともあります。また脳卒中後遺症としててんかんをおこすこともあります。そういう時に救急患者を引き受けて迅速に検査・治療、さらにリハビリもおこなっていただけますので、大変ありがとうございます。

最近3テスラのMRIが導入され、頭痛やめまい、あるいは脳ドックなどMRI検査を希望される方を紹介させていただくことも増えています。

荒木脳神経外科病院の特徴のひとつは、内科もあることです。高齢者は持病が複数のこと多く、内科的な検査や治療にも対応していただけるので、患者や御家族にとっても安心していただけると思っています。嚥下が難しくなってきた方を紹介して嚥下機能検査を受けていただくこともあります。また胃ろうの交換などにも対応していただいています。

脳外科、内科ともに開放病床を利用させていただいております。入院中の検査・画像や病状を担当医師から直接説明していただくこともありますし、ありがたいことだと思います。在宅・施設から病院へ、病院から在宅・施設へ、連続性をもった診療ができますので、我々医療者側だけではなく患者様や御家族のメリットは大きいと思います。

これからもよろしくお願い致します。



**Q1**

まずは先生のご出身、経歴を教えてください。

**A**

生まれは広島市です。県立広島病院で生まれて、小学校6年までは宇品に住んでいました。その後は引っ越して大学に行くまでは安佐北区に住んでいました。徳島大学に入学し、平成5年に卒業しました。その後は徳島大学の脳神経外科の医局に入局して福岡市や大分市の病院を含め関連病院を回りました。大学に帰って専門医を取ってからは大学院で4年ほど下垂体腺腫の遺伝子解析の研究をして学位を取りました。

4年前に広島に帰ってきて中区昭和町の梶川病院で働いていましたが、今回縁あってこちらで働きさせて頂くこととなりました。

**Q2**

先生のご専門の脳血管内治療に関して教えてください。

**A**

簡単に言えば頭を開けずに血管の中から治療を行います。動脈瘤をコイルで詰めたり、頸部の内頸動脈の狭窄に対してステントで広げたり、血栓などで閉塞した脳血管を薬物や風船などで開いたりという治療がよく行われます。

現在この分野では次々に新しい道具が日本で使用できるようになってきておりますが、安全に使用すると言う観点から私のような血管内治療学会専門医が、講習を受けた上で行うのでなければ使用できないものが殆どです。この様な脳卒中を中心扱う病院ではこれらの道具が使用できないという事は時代に取り残される可能性がありますので、その様な事の無い様に常に情報を集めながら自己研鑽に励んで行かなくてはならないと考えております。

**Q3**

先生の趣味は何ですか？

平成23年8月より当院に着任頂きました、  
診療部長 山崎弘幸先生を紹介致します。

ようこそ!!

**山崎先生**

**A**

高校生の時からアコースティックギターが好きでよく弾いています。当初は松山千春や長渕剛をコピーしていました。Simon & Garfunkelもかなりコピーしました。医師になってからは中川イサトや石川鷹彦の曲にも挑戦しています。余り知らない人も多いと思いますが。。。押尾コータローの曲も挑戦してみようかと思っていますが、ボディーを叩く奏法には少し抵抗を感じています。

また英会話や中国語会話も勉強していますが、最近は時間も無いので、余り上達していません。大学院時代に中国人の友達が出来たり、姉の旦那が横浜生まれの華僑であったりと中国には縁があり、中国語を勉強しています。元々三國志が好きで色々読んでいましたが、その後「項羽と劉邦」に興味が広がり、最近になって春秋戦国時代(史記)にまで広がってしまいました。この時期の書物には生きていく上で、人の上に立つ際に、非常に役に立つ言葉が山のように書いてあります。2500年近く生き残っている書物はただ者ではありません。また、この時期のものではありませんが、「貞觀政要」も非常に良書ですね。

**Q4**

最後に一言お願いします。

**A**

荒木脳神経外科病院に来て年齢的には若い方(梶川では上から4番目)になってしましましたが、血管内治療学会専門医として、血管内治療を中心に脳卒中治療を頑張っていきたいと考えております。遠慮はしません・・・(笑)

## ■ 医療法人光臨会 理念

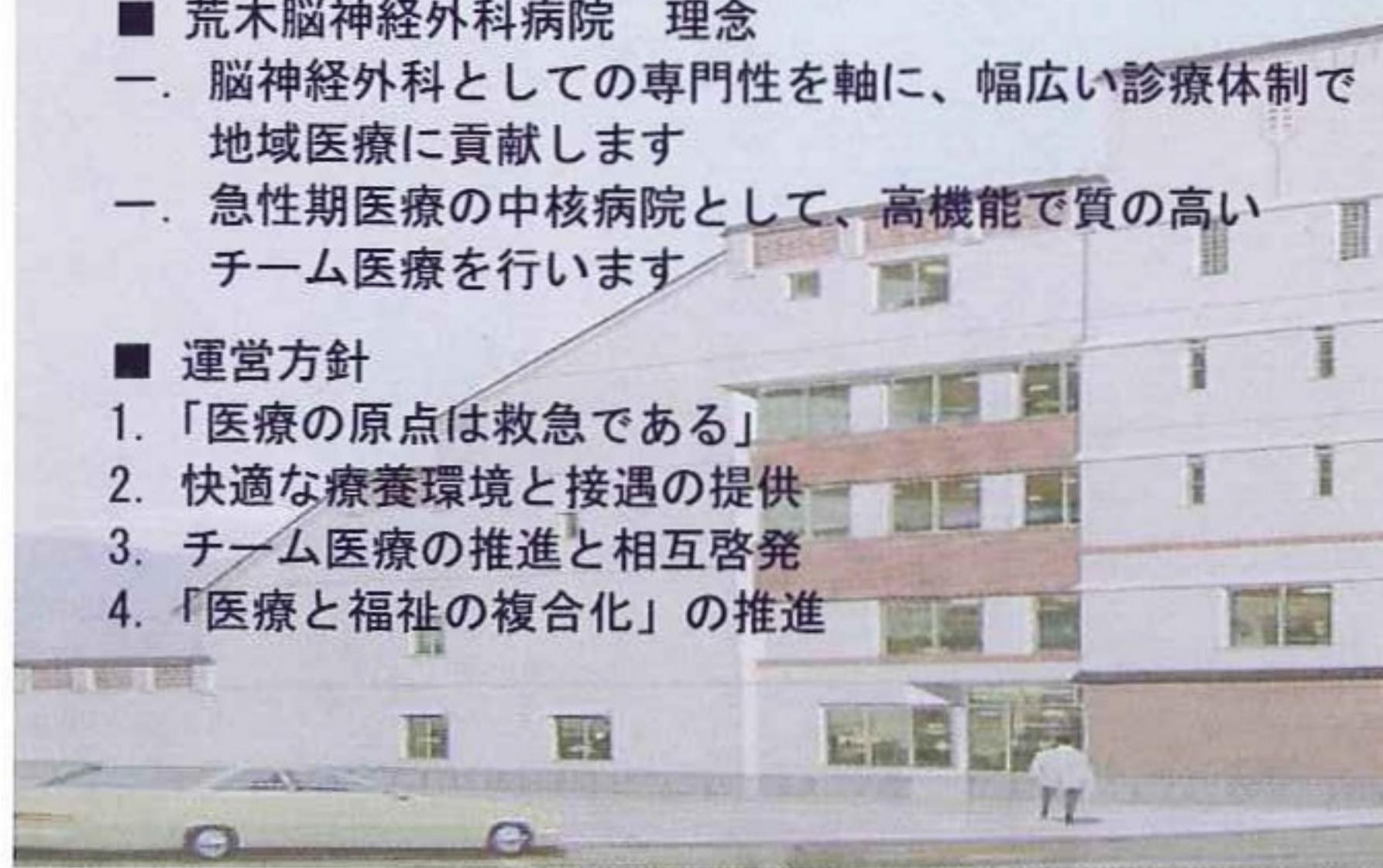
- 皆様に安心していただける、  
全人的な医療と介護を目指します

## ■ 荒木脳神経外科病院 理念

- 脳神経外科としての専門性を軸に、幅広い診療体制で  
地域医療に貢献します
- 急性期医療の中核病院として、高機能で質の高い  
チーム医療を行います

## ■ 運営方針

- 「医療の原点は救急である」
- 快適な療養環境と接遇の提供
- チーム医療の推進と相互啓発
- 「医療と福祉の複合化」の推進



## ■ 患者様の権利

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、職員全員が次のような患者様の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います。

- 個人の尊厳が守られる権利を尊重します。
- 最善かつ安全な医療を受ける権利を尊重します。
- 医療に関して知る権利を尊重します。
- 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します。
- 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します。
- 自分自身の治療について他の医師の意見を聞く権利を尊重します。
- 苦情を申し立てる権利を尊重します。

## ■ 患者様の義務

- 患者様には適切かつ安全な医療を受ける為、診療上必要な自らの情報を正確に伝える義務があります。
- 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を守る義務があります。

平成 23 年 8 月 1 日～



## 外来担当医表



### 診察時間 完全予約制

午前 9 時～12 時（受付：午前 11 時 30 分迄）  
午後 3 時～6 時（受付：午後 5 時 30 分迄）

### 脳神経外科

		月	火	水	木	金	土
午 前	初診（1診）	谷	山崎	理事長 荒木	院長 沖	江本	広大
	再診（2診）	院長 沖	院長 沖	江本	山崎	谷	谷
午 後	初・再診（1診）	江本	谷	広大	鰐川	山崎	広大

### 脳神経内科

午 前	4 診			青木		

### 総合診療（内科・外科）

午 前	3 診	藤井	藤井	藤井	藤井	藤井	渡辺
午 後	3 診	渡辺	渡辺	渡辺	藤井	渡辺	渡辺

### 外科

午 前	4 診	藤井				藤井	
午 後	4 診						

### 脳神経外科・形成外科・消化器内科

午 前	5 診		*1 平本	理事長荒木(再)		*2 井上	

## 医療法人光臨会

### 荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 8-7

TEL 082-272-1114

FAX 082-272-7048

E-mail info@arakihp.jp

ホームページアドレス <http://www.arakihp.jp>

TEL 082-527-1123

### 荒木訪問リハビリテーション

TEL 082-507-6300

### 荒木居宅介護支援事業所

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 1-4-201

### あんしんプラザ

〒733-0822 広島市西区庚午中 2 丁目 11-15

### 荒木クリニック

通所リハビリテーション

TEL 082-507-6100

### あんしんホーム

（認知症対応型共同生活介護施設）TEL 082-507-6600

## 交通案内

### ○自動車

西広島バイパス「庚午出口」より

宮島方向へ 100m（宮島街道沿い）

### ○広島電鉄・宮島線

「東高須」下車 徒歩 3 分

### ○広島バス 25 号線

「庚午北 2 丁目」バス停前



## お知らせ

9月1日より、厚生労働省から「脳卒中治療領域におけるチーム医療の実証事業委託施設」として負託を受け、取り組みを始めています。詳細は次号で報告します。お楽しみに。